

MONTHLY

# 神變別冊

## 宗派だより

令和6年2月号



令和六年二月六日発行  
発行所 真言宗醍醐派宗務本庁

京都市伏見区

醍醐東大路町二十二

電話 〇七五―五七―一〇〇〇二

FAX 〇七五―五七―一〇〇〇二

### 今月の掲載内容

- ・ おことば
- ・ 決意を新たに
- ・ 遍照心院順和大僧正本葬儀
- ・ 録事
- ・ 宗派だより
- ・ 本庁からのお知らせ
- ・ 醍醐寺からのお知らせ

金堂で厳修

4 4 4 3 2 1 1

### おことば

醍醐寺座主 三寶院門跡 仲田順和  
僧正の遷化を悔やみますと共に残念に思います。

ご生前中、三寶院を訪れ、美しい五重塔と金堂を案内いただき、後奈良天皇御宸筆の般若心経や文書類を見たのが懐かしく思いおこします。

ご冥福をお祈りいたします。  
寺内の皆様にはお疲れがでませぬように。

天皇陛下より、遍照心院順和大僧正の四十九日におことばを賜りましたのでここに全文を記しました。

### 決意を新たに

私は、昨年十二月八日開催の座主推薦委員会において、醍醐寺第百四世座主に推挙され、同日付けにて就任いたしました。そして同時に三寶院門跡・真言宗醍醐派管長を務めることになりました。浅学非才にてその任に非ずであります。ご推挙の重さを慮りこの任を全うすべく粉骨碎身精進して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

就任と同時に新しい内局の指名を行いました。内局の要の執行長である宗務総長は、山内はもとより宗内外に人望があり、深い見識と実行力をお持ちの方でなければなりません。様々なお方からいろいろなご意見をいただき熟考の末、当初から望んでおりました福岡宗務所下「不動院」住職・大原弘敬僧正にお願いをし、去る十二月二十九日にご承諾いただきました。そして、今年一月九日付けにて正式に発足いたしました。

新内局は、大原弘敬宗務総長以外には仲田順英総務部長・浦郷宜右教学部長・三好祥徳財務部長を任命いたしました。よろしくお願いたします。

私がこの内局に期待をしておりますことは、次世代の醍醐を担って下さる若い方々にとつて魅力的な本山であり宗団となることでもあります。そのためには各種規則の見直しは避けて通れません。大原総長を主に、これを実践していきたいと思っております。そして「醍醐寺開創千五十年大法要」が立派に成満することは勿論であります。本山が主催する法要や伝授・講習会が皆様に納得していただき輝きのあるものにならなければならないと考えております。

これらを現実のものとするため努力して参りますので、皆さまには旧倍のお力添えをお願いいたします。

座主 壁瀬 宥雅

## 遍照心院順和大僧正本葬儀

### 金堂で厳修

遍照心院順和大僧正（総本山醍醐寺第百三世座主仲田順和大僧正猥下）の本葬儀は、去る十二月十七日午前十一時より総本山醍醐寺金堂で執り行われた。

当日は堂内をはじめ、金堂前に設えた席にも多くの方々が参座する中、総本山御寺泉涌寺長老上村貞郎大僧正猥下御導師のもと醍醐派宗会議員が職衆を務めて営まれた。

法要では、洒水、奠供が唱えられ続いて、御導師が歎徳文を奉読。真言宗長者飛鷹全隆猥下、東大寺別当橋村公英猥下、京都市市長門川大作氏、日本経済新聞社参与杉田亮毅氏、醍醐寺文化財研究所永村眞氏、醍醐派寺院教会全教師代表・醍醐派宗会議長の岩鶴密雄僧正が弔辞を述べた。

続いて、多数の弔電、供花があったことが報告され、観音経、佛讃、光明真言、廻向と続き、喪主・醍醐寺座主壁瀬宥雅大僧正が謝辞を述べ、本葬儀を終了した。

通夜密葬、本葬と多くの方々より、多数の御心を頂戴いたしましたこと、厚く御礼申し上げます。

尚、改めて追悼号を発刊いたします。



## 令和六年 告示第一号 真言宗醍醐派一般

宗教法人真言宗醍醐派規則第二章第六節及び同宗制第三章第六節の規定により、来る三月十四日 第七十六次宗会を宗務本庁に招集する。会期は二日間とする。  
右記、告示する。

令和六年二月六日

真言宗醍醐派管長

大僧正 壁瀬宥雅

謹啓 酷寒の候 益々ご清適の段 慶賀  
申し上げます。

陳者 今般 不肖 私共 一月九日を  
もって内局の職責を拜命いたしました。  
実修実証のみ教えのもと、本山護持及び  
宗団発展に努力させていただく所存で  
ございます。

何卒、格別のご支援ご鞭撻を賜りますよ  
う、書中をもってご挨拶申し上げます。

敬具

令和六年一月

總本山 醍醐寺

真言宗醍醐派宗務本庁

執行長・宗務總長 大原 弘敬  
執行・總務部長 仲田 順英  
執行・教学部長 浦郷 宜右  
執行・財務部長 三好 祥徳

録事

▼宗務所移動

八月一日  
任山梨宗務所所長 玄法院 坂本 正文  
任山梨宗務所副所長 上求寺 石田 貴永  
任山梨宗務所代議員 上求寺 石田 貴永  
教昌寺 此田 永樹  
九月十日  
任山形北部宗務所所長 龍寶院 最上 神司  
任山形北部宗務所副所長 妙見院 鈴木 重行  
任山形北部宗務所代議員 良向寺 大江 良憲

▼僧階昇補

本宗籍  
九月二十八日 少僧正 三重 古川 朋玉  
十月八日 權少僧都 北海道 長谷川 翠芳  
十月二十八日 權少僧正 宮崎 黒木 清祥  
宮崎 権少僧正 宮崎 染矢 清祐

▼責任役員任命

十一月十二日 三河西部 常光院 萩原 敏弘  
萩原 孝子  
十一月二十八日 北海道 龍光寺 萩原 慶枝  
善照寺 岩熊 智範  
鹿兒島(直) 善照寺 堀 秀暢  
十二月一日 三河東部 大聖寺 小笠 量順  
小笠 量順  
三河東部 光徳院 小笠 量順  
三河東部 清寶寺 小笠 量順  
三河東部 清寶寺 小笠 量順  
十二月二日 大阪 乃木寺 井上 健介

十二月六日 三河東部 光明院 藤澤 寛秀  
十二月十三日 肥前 大福寺 龜甲 昌明  
龜甲 典代

十二月十八日 三河東部 勝善寺 前田 且子  
前田 好司  
十二月十八日 三河西部 藥證寺 前田 信代

十二月二十日 三河東部 金胎寺 千賀 尊議  
洞田 政治  
十二月二十五日 大分 八坂寺 松山 由美  
松山 雄俊

十二月二十六日 北海道 龍照寺 宮田 加代子  
宮田 榮治  
十二月二十八日 尾張 三光院 首藤 榮治  
菊地 健  
河野 裕子

十二月二十八日 尾張 三光院 茅根 久治  
鈴木 和彦  
佐藤 洋子  
福田 繁子

▼総代委嘱

十一月十二日 三河西部 常光院 萩原 邦弘  
十一月十九日 新潟 成就院 種村 久一郎  
富所 俊一  
松田 莊一郎  
鈴木 俊二  
富所 希代子  
十一月二十八日 北海道 龍光寺 萩原 由香  
橋場 幸一  
遠藤 恵一  
十二月一日 三河東部 大聖寺 樋口 宇生  
宮城 谷仁志



【お詫びと訂正】

『神変』令和五年度（二〇二二）前期号（No.一二八二）十四～十五頁  
 平成三十年台風二十一号被害復旧事業報告 記事の中で、香川宗務所 摩  
 尼院 中筋高照師の寄付金百万円の記載漏れがございました。

ここに謹んでお詫び申し上げますと共に、記載漏れによる訂正箇所を掲  
 載いたします。

寄付金その他 十五頁上段三～四行目の 宗務所（香川・福岡）  
 ・五百七十万三千円が六百七十万三千円に、続いて四～六行目の負担金  
 総本山醍醐寺一億一千六百九十三万八千一百一円は一億二千五百九十三万  
 八千一百一円に。

また、同頁上段後ろから四行目に「摩尼院 中筋高照」師を追加、さ  
 らには同頁上段後ろから三行目の「多聞寺 長尾眞玄」師は「多聞院  
 長尾眞玄」師の誤りでした。

再度、香川宗務所の皆様の寺院住職・教師名をここに記し、重ねて深  
 くお詫び申し上げます。

香川宗務所

一、〇〇〇、〇〇〇円	摩尼院	中筋高照
一、〇〇〇、〇〇〇円	道隆寺	高畑隆憲
一〇〇、〇〇〇円	観音堂	梶川龍弘
二五〇、〇〇〇円	多聞院	長尾眞玄
二五〇、〇〇〇円	寶性寺	森口宜帝
二〇〇、〇〇〇円	薬王寺	清水 涉
二五〇、〇〇〇円	三角寺	和氣正真
四八、〇〇〇円	海岸寺	上戸暖大
一〇〇、〇〇〇円	上生寺	横山寛宗
二五〇、〇〇〇円	吉祥寺	森末幸彦
三〇〇、〇〇〇円	十波羅密寺	業天智隆
一〇〇、〇〇〇円	普門院	木村法海
二五〇、〇〇〇円	地藏寺	木村勝美
一五三、〇〇〇円	十輪寺	三好祥晃
二五〇、〇〇〇円	大窪寺	槇野恵純
一〇、〇〇〇円		合田 翁

令和六年二月二十三日  
 五大力尊仁王会当日行事案内

八時三十分	五大力尊仁王会法要開始	金堂
九時	五大力尊御影守授与開始	金堂前
	柴燈護摩特別祈願開始	柴燈護摩道場
十時	奉納「餅上げ」	
	小学生の部	金堂前特設舞台
十一時	奉納「餅上げ」	
	男子の部 百五十キロ	金堂前特設舞台
十二時三十分	奉納「餅上げ」	
	女子の部 九十キロ	金堂前特設舞台
十六時	五大力尊仁王会法要終了	金堂
十六時三十分	柴燈護摩特別祈願終了	柴燈護摩道場
十七時	五大力尊御影守授与終了	金堂前

※都合により時間を変更する場合がございます。

仁王会 金堂内拝

九時～十六時 於 金堂

内拝料 千円

みなさまお誘いあわせの上、ご参拝くださいませ。

仁王会 特別参座席

志納料 三万円

### 土山印刷株式会社

〒600118308  
京都市南区吉祥院向田東町14  
TEL (075) 31211321  
FAX (075) 31318521  
www.tsuchiyama.co.jp

### 上田法衣佛具店

〒60410913  
京都市中京区河原町二条西入上る  
TEL (075) 22113348  
FAX (075) 21111858

### 今井半念珠店

〒60510934  
京都市東山区大黒町通正面南入  
TEL (075) 56110307  
FAX (075) 52512557

### 松栄堂

〒60410857  
京都市中京区烏丸通二条上ル東側  
TEL (075) 21215590  
https://www.shoyeido.co.jp

### 大住法衣店

〒60418274  
京都市中京区小川通三条上ル西堂町  
TEL (075) 22113087  
FAX (075) 22113038  
E-mail oosumihi@outi@gmail.com

### 山城屋文政堂

### 藤井佐兵衛

〒60018029  
京都市下京区寺町通五条上ル  
TEL (075) 35119363  
FAX (075) 34315500  
http://yamasa-bunseido.com

### 杉本権七法衣店

〒60018304  
京都市下京区新町通六条下ル  
TEL (075) 35112890  
FAX (075) 34116774

### 和光印刷株式会社

〒60210012  
京都市上京区烏丸通上御霊前上ル  
TEL (075) 44115408  
FAX (075) 44114982  
E-mail info@wako-print.co.jp

### 田中伊雅佛具店

〒60018453  
京都市下京区万寿寺西洞院東入ル  
TEL (075) 35112584  
FAX (075) 34118822  
http://www.tanakaiga.com

法衣・仏具製造及び販売



井筒法衣店

600-8468  
京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)  
Tel 075-365-0001  
☎ 0120-075-730  
Fax 075-353-7021

オンラインショップを  
開設しました



### 林勘法衣店

〒60210874  
京都市上京区河原町丸太町  
西筋下ル東土御門町345  
TEL (075) 23112244  
FAX (075) 25516632  
E-mail hayashikan@beach.ocn.ne.jp

### 大峯山陀羅尼助丸

### 花谷神変堂

〒63810431  
奈良県吉野郡天川村洞川235  
TEL (0747) 6410047  
FAX (0747) 6410070

醍醐寺 開創 1150年  
Daigoji Cherry Blossom Festival 2024年 3/15(金)▶4/15(月)  
総本山 醍醐寺

### 醍醐寺開創1150年慶讃事業義納金について

今般の義納金は、醍醐寺開創以来1150年に亘って受け継がれてきた法流伝承の象徴として「法流の杜(仮称)」を整備するための大切なものです。

詳細はお手元のパンフレットをご確認いただき、是非お早目の納入をお願いいたします。

ご不明点は宗務本庁までお問い合わせください。

【お問い合わせ】宗務本庁 TEL: 075-571-0002

よりいっそう桜舞う時期に合わせ、2024年より桜会の期間・行事を変更いたします。  
※昨年までの開催期間は、4/1~4/21としておりました。

- 3/15(金) 桜会開白 大般若転読法要
- 4/ 1(月) 桜会中日 柴燈大護摩法要
- 4/14(日) 豊太閤花見行列
- 4/15(月) 桜会結願 恵印三昧耶法要

